2023 年度定例総会にあたって ～愛知県吹奏楽連盟 理事長挨拶～

2023 年 4 月 29 日（土）　　愛知県吹奏楽連盟　理事長　　斎藤　和憲

５月のゴールデンウイーク明けには，新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが２類相当から５類に変更されることが見込まれており，2023 年度（令和 5 年度）は，ウイズコロナからアフターコロナへ転換する年になる兆しが見えています。吹奏楽コンクール等の連盟事業においては，参加団体の皆さんが多くの観客の前で演奏ができる喜びを味わっていただきたいと強く思います。

振り返ってみますと 2020 年度「コンクール等の事業中止」からのコロナ禍の三年間は，新しい吹奏楽の形を多くの知恵と工夫でつくり上げてきました。

2022 年度は，県小・中学校吹奏楽連盟，県高等学校吹奏楽連盟，県大学・職場・一般吹奏楽連盟の三部門や担当する委員会による柔軟な発想とともに，運営する理事・役員のチームワークにより，ほとんどの事業を中止・変更することなく見事に開催することができました。事業の実現に向けて努力していただいた全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

コロナ禍の三年間で生じた問題点を受けて，2023 年度は次の 3 点を柱に据えて活動していく必要があると考えています。

① 新しい吹奏楽活動の研究の推進

三年間続いたコロナ禍では，感染症拡大防止対策を優先にして各事業を進めてきました。2023 年度は通常開催を原則としつつも，感染症対策について柔軟に取り組みます。

また，昨年の 11 月に文化庁から出された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を受けて新しい発想による事業運営の在り方を模索するなど，「新しい吹奏楽活動」について研究し，できるところから実践していきたいと考えています。

② 愛知県吹奏楽連盟の財政健全化

2022 年度は各部門や県吹連の事業が好調で，財政的に持ち直すことができました。このコロナ禍での経験を基に「財政の健全化」に向けてさらに対策を考えて実

践していきます。

③　学校吹奏楽の地域移行への対応

2022 年度に，特に小・中学校の部活動の地域移行は大きく前進しました。昨年の 12 月に愛知県教育委員会から「部活動の地域移行に向けた推進計画」が提示され，それを受けて愛知県内の各市町村が地域移行に向けて動き出しました。愛知県吹奏楽連盟は，2023 年度に「地域移行対策委員会」を設置し，この委員会を中心にして具体的な対策を考え，実践していきます。

愛知県吹奏楽連盟としては，これまで通り小・中学校部門，高校部門，大学・職場・一般部門の三つの部門連盟を縦軸，マーチング委員会，イベント委員会，セミナー委員会，地域移行対策委員会（新設），全国大会運営局，事務局と会計局を横軸として，縦軸と横軸が有機的に関わり合いながら活力ある活動を実践していくことに加え，今後は縦軸と横軸の関わりと指導者の年齢を超えた柔軟な発想により「新しい吹奏楽活動」を研究・実践していきます。そして，これらの愛知県吹奏楽連盟の取組を多くの方々に理解していただくために，ホームページによる情報発信や，さまざまなメディアでの情宣にも力を入れていきたいと思います。

愛知県吹奏楽連盟では，会長を愛知県教育委員会教育長にお願いしています。2023 年度も，愛知県吹奏楽連盟の活動等を理解していただくために，例年通り県教育長訪問を予定しています。この困難な時期に，愛知県吹奏楽連盟の活動をスムーズに遂行することができるのは，愛知県教育委員会教育長に会長職をお務めいただいているからこそです。さらにご理解をいただけるように，きずなを深めたいと考えています。

最後になりますが，当連盟がここまで成長できましたのは，各加盟団体構成員と指導者の皆様の熱意によるものであり，そのことに深く感謝いたします。同時に，これほどの規模に達するまで支え続けていただいた役員・先輩諸氏のご努力に，心より敬意を表したいと思います。さらに，当連盟に関連して支援していただいた全ての関係者の方々に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

愛知県吹奏楽連盟の目的である「吹奏楽による音楽普及向上を図り，文化の発展に寄与すること」の意味を改めて考えることで，更なる充実・発展を目指すことを決意するとともに，皆様方のより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げまして，2023 年度冒頭での挨拶といたします。